

証券コード：5019



個人投資家様向け説明会

2023年12月13日

出光興産株式会社

本日のご説明内容

1. 出光興産の概要

2. 中長期ビジョン –カーボンニュートラルに向けた取り組み–

3. 業績および株主還元

4. 個人投資家様・株主様に向けて

1. 出光興産の概要

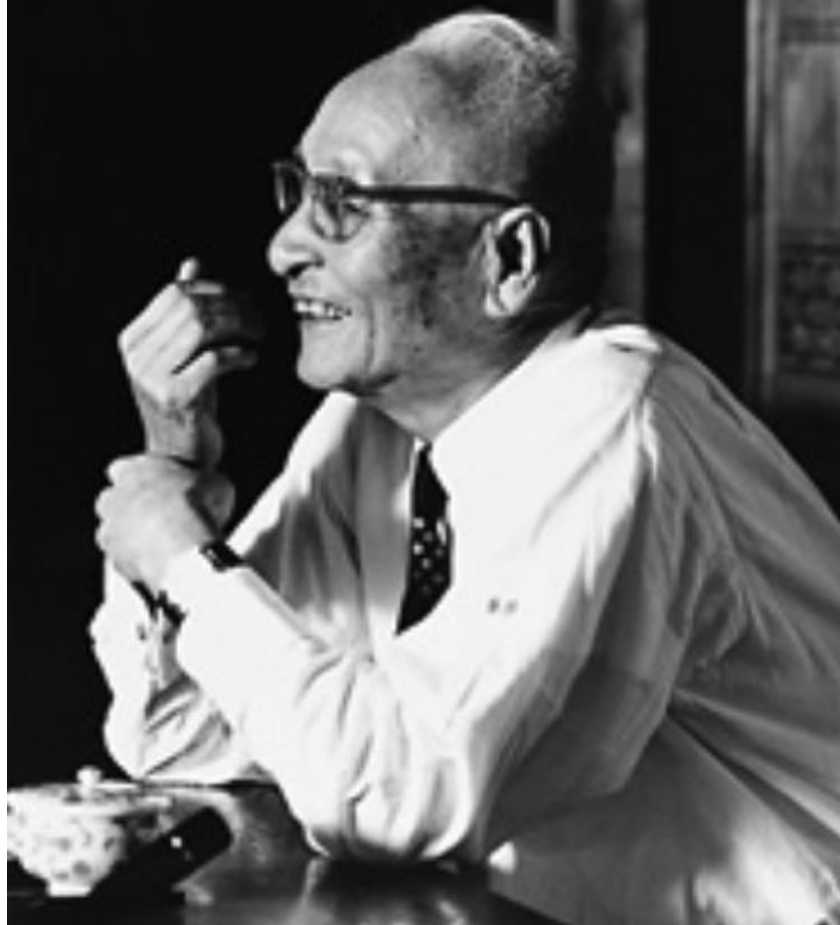
2. 中長期ビジョン –カーボンニュートラルに向けた取り組み–

3. 業績および株主還元

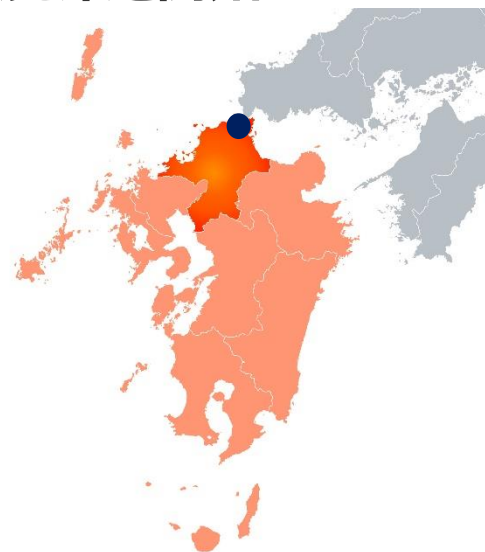
4. 個人投資家様・株主様に向けて

出光創業の精神

創業者出光佐三



1911年（明治44）
出光商会として北九州の門司で
石油販売業を開始



「人間尊重」を経営の原点に掲げ、店員
が一致団結して国のため、人のために働
き抜くことを主義として、様々な苦難を乗
り越えながら事業を拡大した

真に働く

国・地域社会、そこに暮らす人々を想い、考えぬき、働きぬいているか。
日々自らを顧みて更なる成長を目指す。
かかる人が集い、一丸となって不可能を可能にする。

私たちは、高き理想と志を掲げ、挑み続ける。

経営の原点

人間尊重

出光の概要

出光興産

昭和シェル石油

2019年4月経営統合



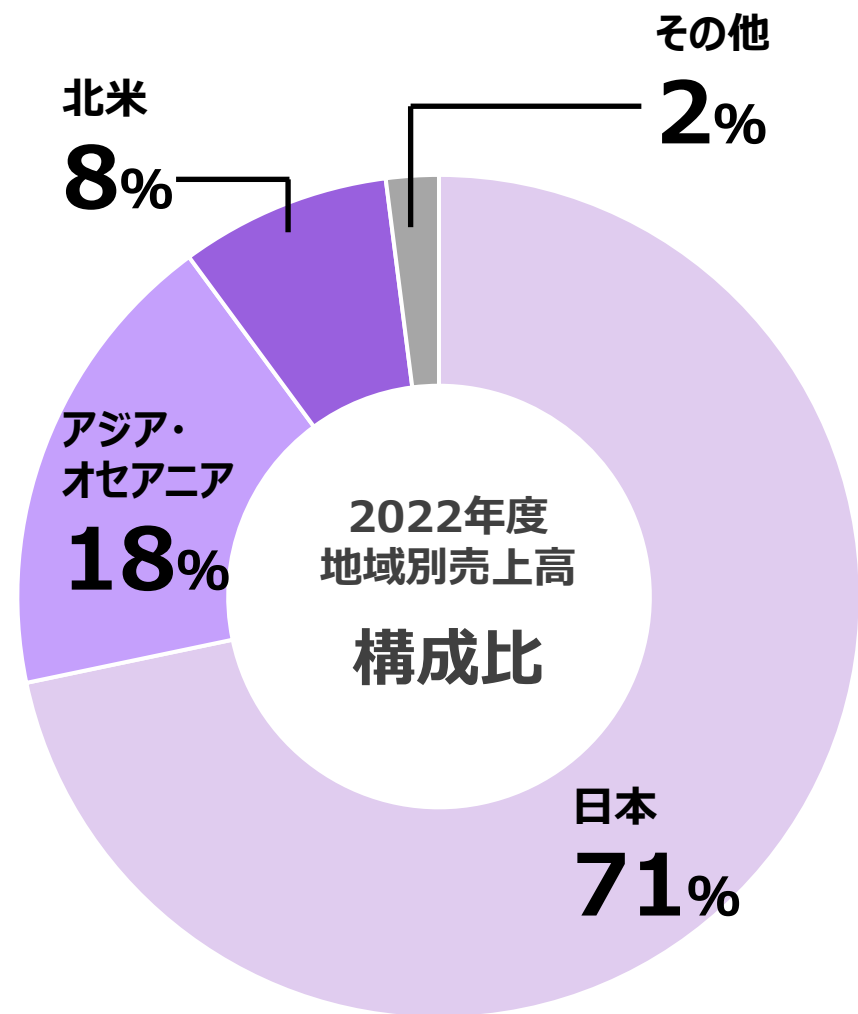
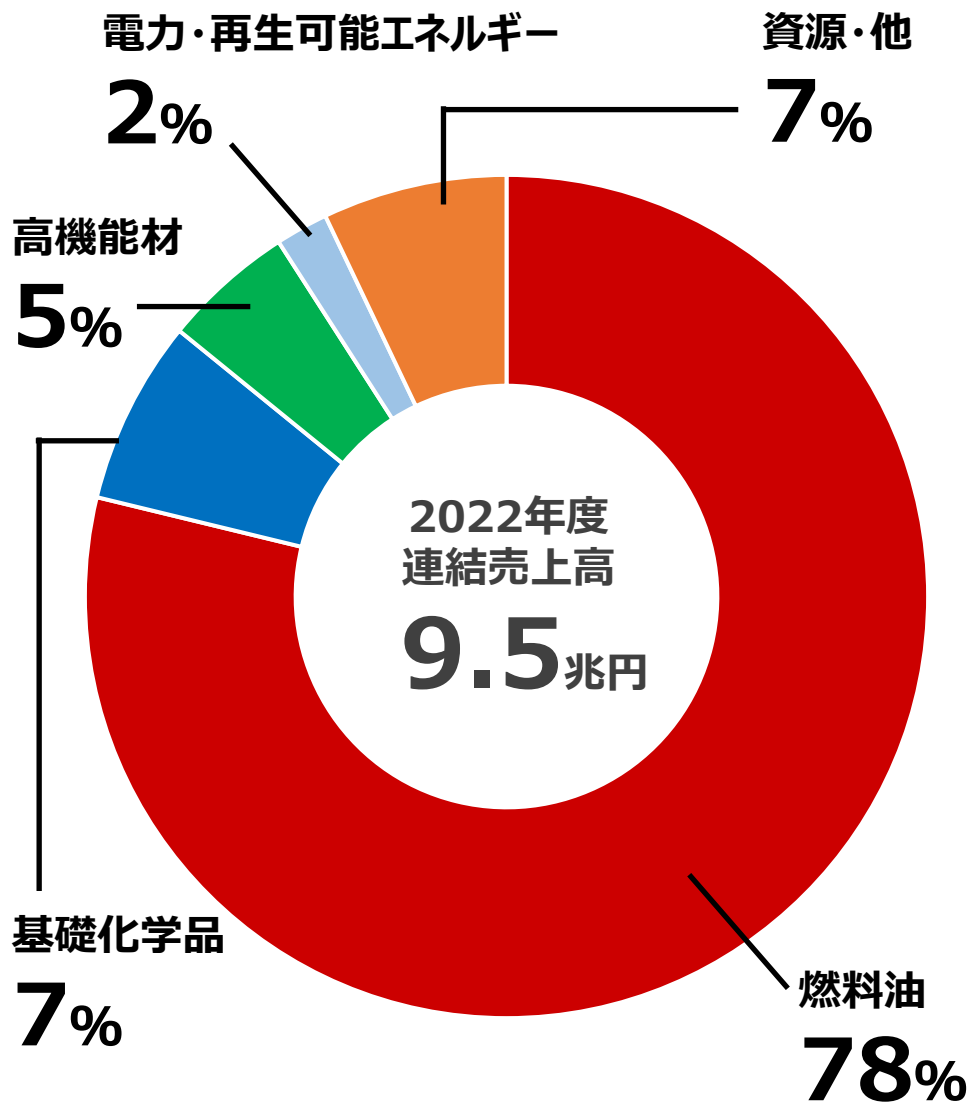
<主な採用指数>

TOPIX JPX-NIKKEI 400
JPXプライム 150 **初採用**
日経 225
日経 300
日経高配当株50指数

2023年3月期実績

設立（創業）	: 1940年（1911年）	証券コード	: 5019（プライム市場）
従業員数	: 約14,000人	時価総額	: 12,081億円*1
売上高	: 9.5兆円 売上高 国内15位	発行済株式数	: 297百万株
資本金	: 1,683 億円	連結対象会社数	: 145社

数字で見る出光



燃料油セグメント ~エネルギーの安定供給~



✓ 原油調達・石油製品の精製・販売

国内石油元売り業界シェア
第2位

✓ 全国のサプライチェーンを通じ、生活に欠かせないエネルギーをお届けしています



原油タンカー

22隻



国内製油所

6拠点



油槽所数

34カ所



国内サービスステーション数

6,100カ所

基礎化学品セグメント ～生活用品等の原料～



✓ 基礎化学品の製造・販売

エチレン国内生産能力
第2位

高機能材セグメント ～出光の技術の結晶～

✓ 世の中を便利にする高機能製品・材料の製造・販売

- ・潤滑油
- ・エンジニアリングプラスチック
- ・有機EL材料
- ・アスファルト
- ・生物農薬
- ・次世代電池向け材料



潤滑油世界シェア

第8位



電力・再エネセグメント ～発電・販売・電源開発～



- ✓ 天然ガス
- ✓ 再生可能エネルギー
(太陽光発電・風力・バイオマス等)



発電能力

190万kw

うち再エネ比率

43%

資源セグメント ～石油・天然ガス・石炭の生産・販売～

- ✓ 石油・天然ガス (ベトナム・ノルウェー)
- ✓ 石炭鉱山 (オーストラリア)
- ✓ 地熱発電 (大分)

原油・ガス生産量

2.9万バレル/日



Bo B. Randulff & Even Kleppa/© Equinor.jpg

グローバル展開の強み

石油事業

イギリス
オランダ
リベリア
カタール
アラブ首長国連邦
シンガポール
ベトナム
オーストラリア
アメリカ

電子材料事業

スイス/中国/韓国

資源事業

ベトナム/中国/カナダ
インドネシア
オーストラリア

基礎化学品事業

マレーシア

海外拠点

64 拠点

高機能材事業

ドイツ/インド/タイ
マレーシア
シンガポール
中国/香港/台湾
アメリカ

潤滑油事業

ドイツ/ロシア
アラブ首長国連邦
インド/パキスタン
タイ/シンガポール
ベトナム/インドネシア
中国/台湾
フィリピン/アメリカ
メキシコ/ブラジル

1. 出光興産の概要

2. 中長期ビジョン –カーボンニュートラルに向けた取り組み–

3. 業績および株主還元

4. 個人投資家様・株主様に向けて

変革をカタチに

私たちは、一歩先のエネルギー、多様な省資源・資源循環ソリューション、スマートよろずやの社会実装を通して、

人びとの暮らしを支える責任

未来の地球環境を守る責任

を果たします。

2050年カーボンニュートラルへの道筋

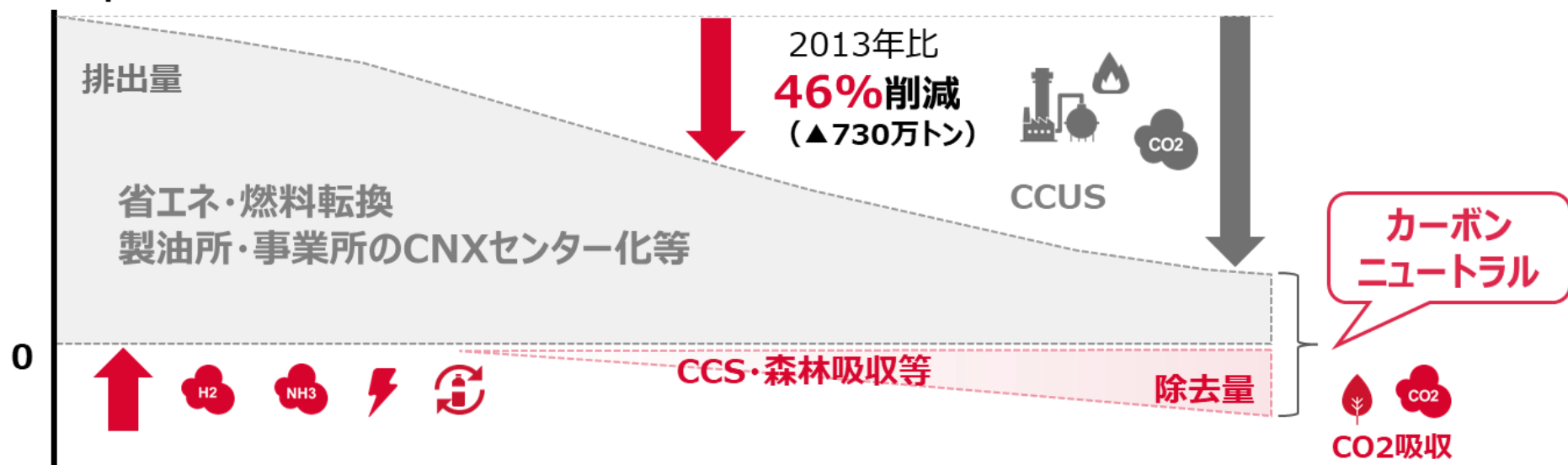
事業ポートフォリオの転換を通じた排出量削減の取組みなどにより、
2050年までに**自社操業に伴う排出量の
カーボンニュートラル(CO2排出量実質ゼロ)**を目指す

CO2排出量/除去量

2013年

2030年

2050年

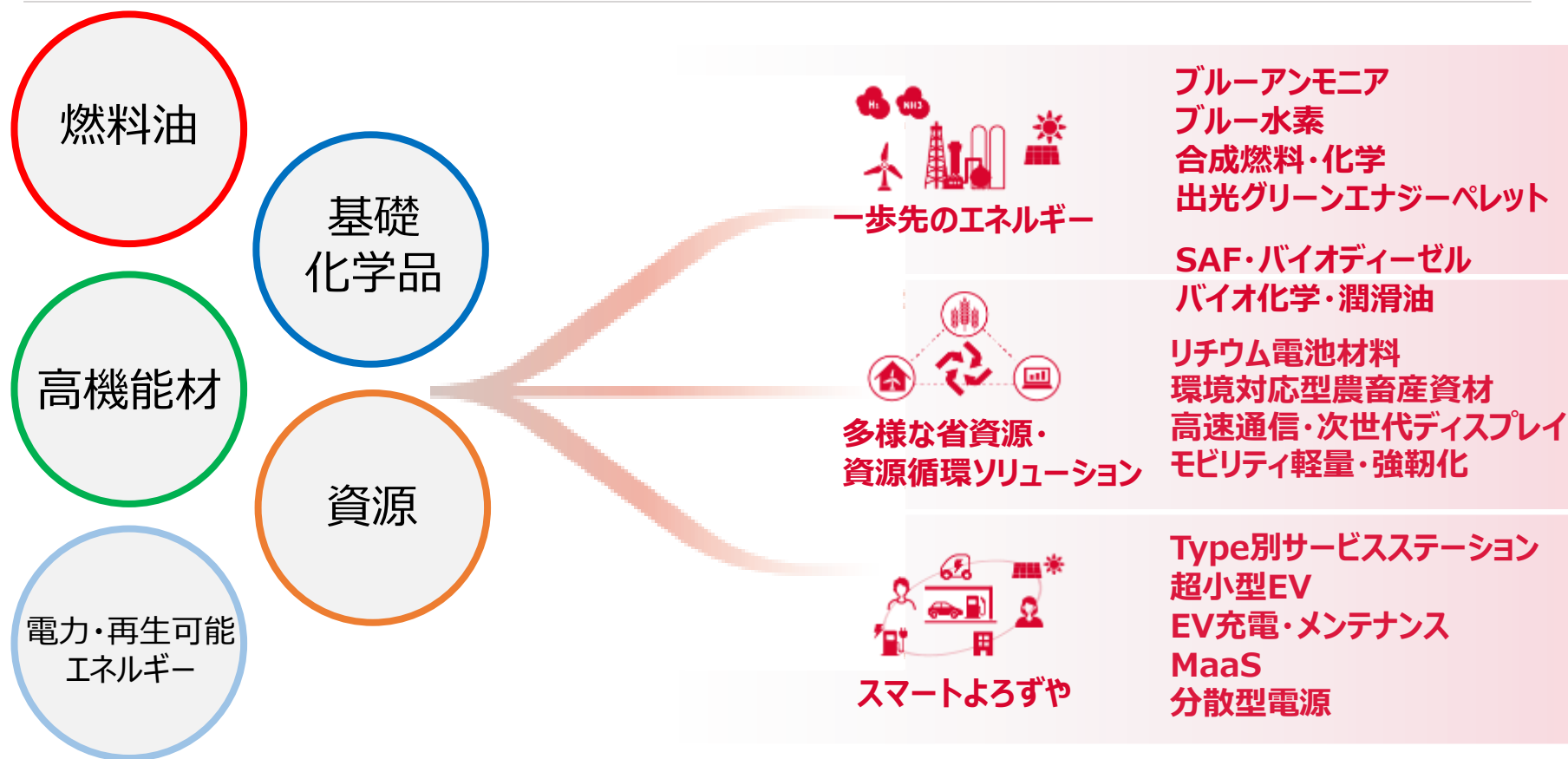


2030年の事業領域と社会実装テーマ

将来のカーボンニュートラル社会においても、**エネルギーとマテリアルの**
メインプレイヤーとなるべく、2030年までの社会実装に取り組む

現在の事業領域

2030年の事業領域と社会実装テーマ



2030年基本方針

事業構造改革投資と人的資本投資の両輪によりビジョンを具現化

2030年
ビジョン 『責任ある変革者』

化石燃料事業主体からの
事業ポートフォリオ転換

1 事業構造改革投資 ROIC経営の実践

- ・ 既存事業の資本効率化とCNに資する新規事業の拡大
- ・ 3つの事業領域における取り組み強化

2 人的資本投資 従業員の成長・ やりがいの最大化

- ・ 人財戦略を経営戦略の根幹に据え、KPIを設定の上、進捗を管理
- ・ 事業構造改革を実現する人財の育成

当社の提供価値
社会実装力

3 ビジネスプラットフォームの進化

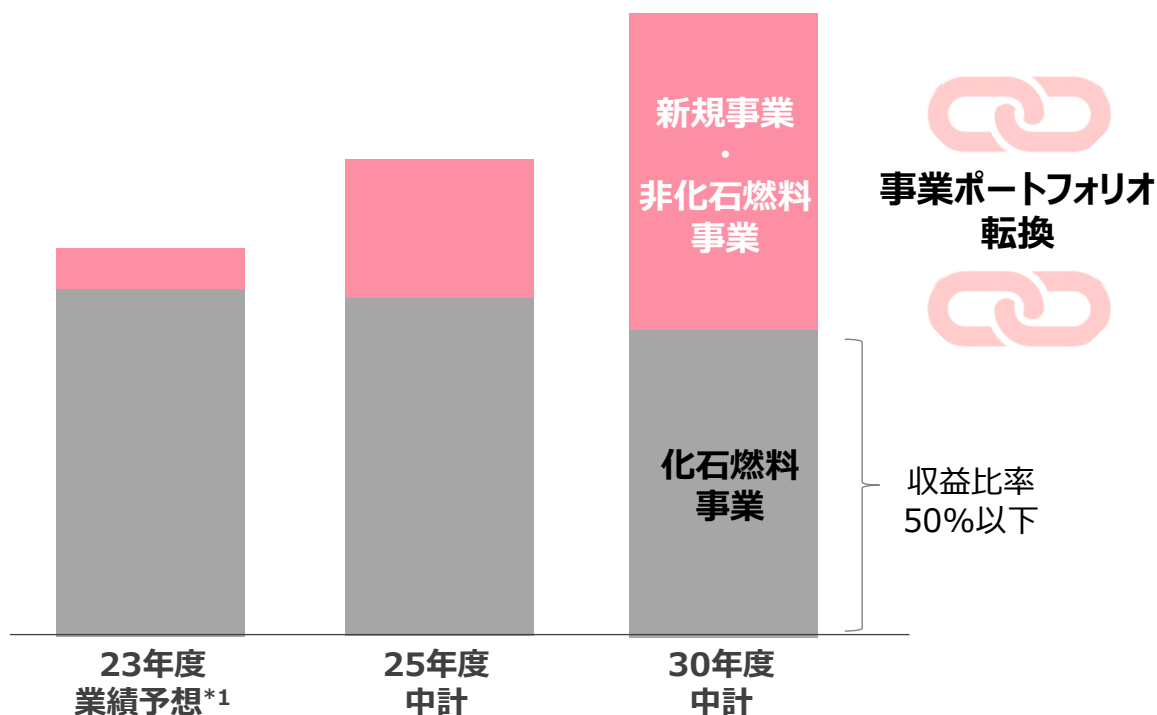
DX戦略：デジタルを活用した生産性向上と新たな価値創造
ガバナンスの進化：取締役会の機能向上と経営戦略に連動した役員報酬制度への見直し

事業ポートフォリオ転換を通じた持続的成長の実現

事業構造改革投資により事業ポートフォリオを転換し、脱炭素事業・成長事業へシフト、収益構造を転換しつつ利益成長を実現

営業 + 持分損益

2,700億円



事業ポートフォリオ
転換

収益比率
50%以下

脱炭素事業へのシフト

成長事業へのシフト

収益構造の転換

事業構造改革投資

← 2030年までに累計1兆円規模 →

中期経営計画の主な進捗

次世代電池向け
固体電解質



トヨタ自動車、Umicore

※イメージ図

SAF

(持続可能な航空燃料)



J-オイルミルズ、LOPS、ペトロナス

使用済みプラスチック
再資源化



商船三井、竹中工務店、日本通運

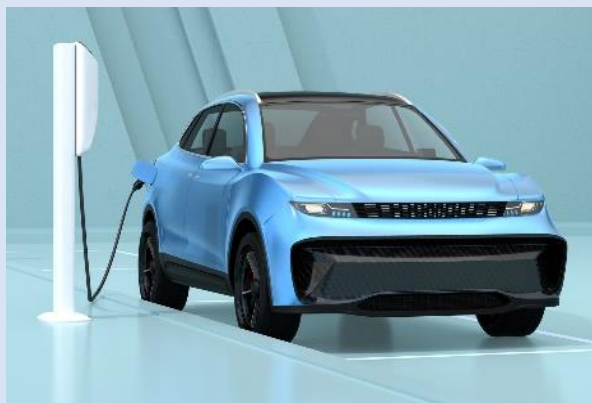
「スマートよろずや」構想
-apolloONEの展開



全国約6,000カ所のSSと特約販売店

次世代電池向け固体電解質 上市へ開発を加速

出光の固体電解質



※イメージ図

- ✓ 石油精製で培い、約30年の研究開発で確立した、「原料」から「固体電解質」までを一貫で製造する高い技術
- ✓ 関連特許出願数はグローバルでトップレベル

<電解質の固体化によるメリット>

- ✓自動車の小型化・軽量化
- ✓安全性向上
- ✓充電時間短縮
- ✓航続距離の伸長

- ✓ トヨタ自動車とバッテリーEV用全固体電池の量産実現に向け協業
- ✓ 2027～28年の全固体電池の実用化、その後の本格量産を目指す

	2023～	2030
事業の進捗	研究開発（材料・量産技術）	市場立上
主な取組み	小型実証設備での量産プロセス検証 ・第1プラント 2021年11月稼働 ・第2プラント 2023年7月稼働開始	大型パイロット装置での 量産プロセス検証
		商業生産

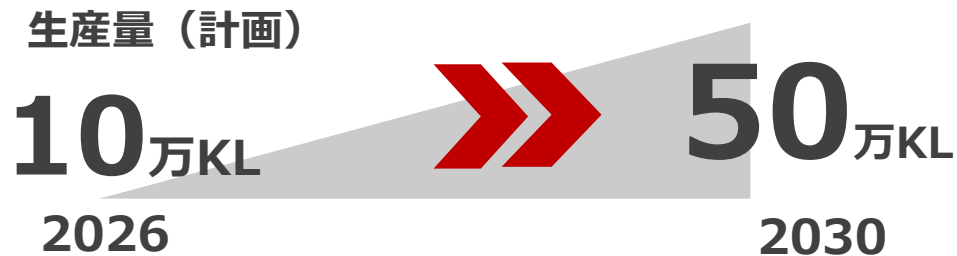
SAF（持続可能な航空燃料）供給体制構築

SAF（Sustainable Aviation Fuel）



- ✓ 従来の航空燃料に比べ温室効果ガスの排出量の大幅な削減が期待でき、既存インフラを活用できる航空燃料
- ✓ 航空業界は2030年に燃料の10%をSAFに置き換えることが目標

- ✓ 2026年供給開始を目指し、千葉事業所内にSAF製造設備建設中
- ✓ J-オイルミルズ、LOPS、ペトロナス等国内外企業と連携し原料調達をはじめサプライチェーン構築に向けた共同検討を開始



使用済みプラスチックの再資源化

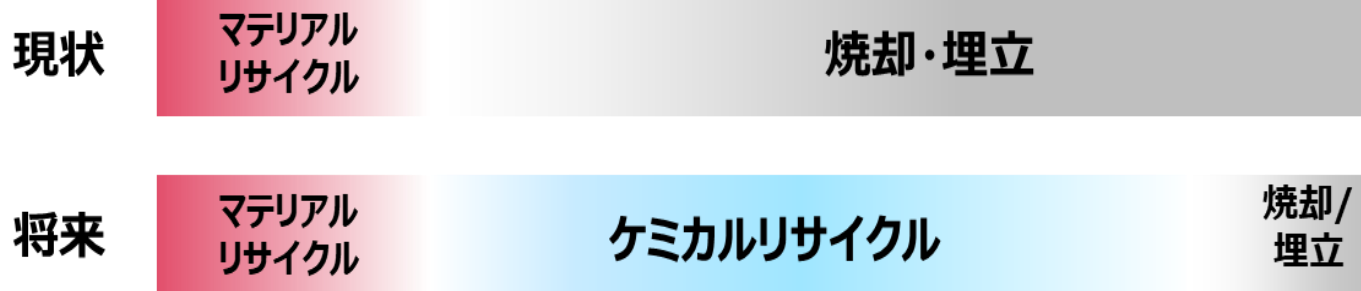
プラスチック再利用の課題と対応



- ✓ 使用済みプラスチックの多くは焼却処分されており、再生品への利用は約2割に留まる
- ✓ 油化装置で生成油を生産、原油に替わる原料として、既存の石油精製および石油化学装置によって「リニューアブル化学品」の生産が可能

- ✓ 2025年度事業化を目指し、千葉事業所内にプラスチック油化装置建設中
- ✓ 商船三井、竹中工務店、日本通運などとプラスチックの再資源化に向けた実証を開始

国内使用済みプラスチック(800万t/年)処理状況



「スマートよろずや」構想-apolloONEの展開

スマートよろずや

apolloONE (アポロワン)



- ✓ 「スマートよろずや」構想の一つの類型
モビリティサービスに特化した新業態SS

<提供サービス>

洗車、カーコーティング、カーシェア、レンタカー、
車検、板金、整備、車販売・買取

- ✓ モビリティサービスに特化した専門店「apolloONE」1号店を10月にオープン
- ✓ アプリ「Drive On」などのアプリや地域のニーズを組みわせ店舗拡大を目指す

出店計画

2023



250店舗

2030

1. 出光興産の概要

2. 中長期ビジョン –カーボンニュートラルに向けた取り組み–

3. 業績および株主還元

4. 個人投資家様・株主様に向けて

2023年度業績予想（中期経営計画対比）

足元の事業環境等を踏まえ、業績予想を上方修正(2Q時点)、
中期経営計画を上回る進捗

	2023年度	
		[単位：億円]
営業利益^{*1} 在庫評価影響^{*2}除く 含む在庫評価影響	中期経営計画 1,750 1,750	最新予想 上方修正 2,200 2,650
当期純利益 在庫評価影響除く 含む在庫評価影響	1,150 1,150	上方修正 1,500 1,800
前提 ドバイ原油（1バレルあたり） 石炭価格（1トンあたり）	90.0ドル 170.0ドル	83.6ドル 175.3ドル

*1：持分法投資損益含む

*2：在庫評価影響：在庫（棚卸資産）の評価による損益への会計上の影響。石油元売会社は法律上70日分の石油を備蓄する義務があり、原油価格の変動による在庫評価影響に関する会計上の影響が大きいため、在庫影響除きの損益を実質的な損益として管理・表記

株主還元方針

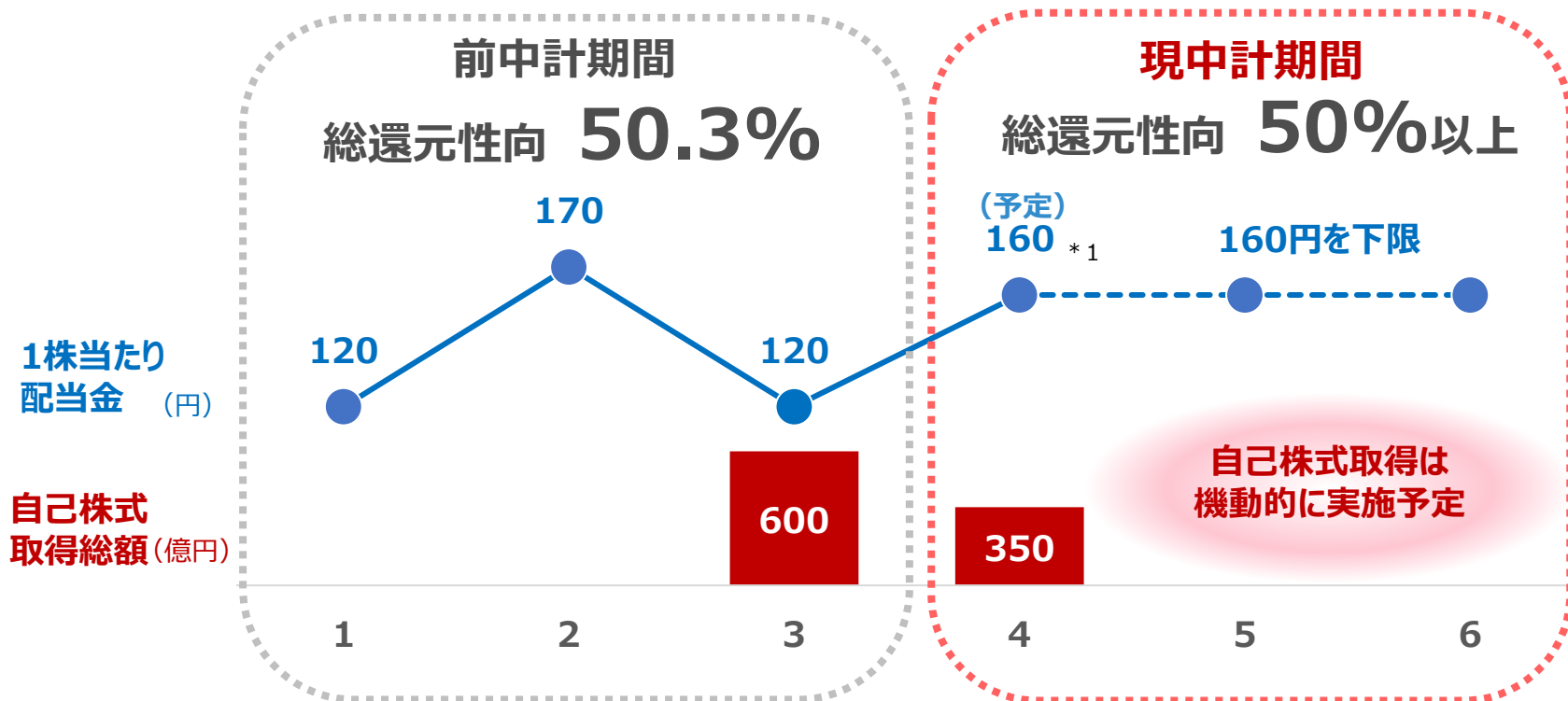
2023～2025年度の3カ年累計の在庫影響除き当期利益に対し、総還元性向50%以上の株主還元を実施

配当

1株当たり160円へ増配、当水準を下限とする

自己株式取得

株価水準を意識し機動的に実施する



1. 出光興産の概要

2. 中長期ビジョン –カーボンニュートラルに向けた取り組み–

3. 業績および株主還元

4. 個人投資家様・株主様に向けて

個人投資家様・株主様にむけて

- ✓ エネルギーの安定供給とカーボンニュートラルの両立には皆様のご支援が不可欠です
- ✓ 皆様のご理解、ご支援をいただける様、双方向のコミュニケーション機会を全社を挙げて充実させて参ります



株式分割の実施

投資家の皆様が当社株式に投資しやすい環境を整え、幅広い世代において、当社株式を保有頂きたいとの考えから、株式分割を実施

株価	4,041 円*1	5 分割	808.2 円
投資単位	約 40 万円		約 8 万円
1株あたり 配当金	160 円 を下限		32 円 を下限

基準日：
2023/12/31

効力発生日：
2024/1/1

株主様専用Webサイト「いでみつコネクト」

2023年6月に株主様とのコミュニケーションをつなぐプラットフォームとして開設。Web連動の冊子も発刊



- ✓ 抽選優待・見学会申し込み
- ✓ 社長ライブ説明会参加
- ✓ 株主様限定記事の閲覧
- ✓ 最新情報のお届け

株主様と出光をつなぐ
いでみつコネクト
Plus+

株主様専用WEBサイト
「いでみつコネクト」から
旬な情報をご紹介します!

CONTENTS

- 参加特典付! 第1回社長ライブ説明会開催
- 株主還元方針(増配/自己株取得)、株式分割
- 抽選優待・事業所見学会スタート!

抽選制優待制度の導入

テレビ朝日系列音楽番組

「題名のない音楽会」収録ご招待



番組司会者



石丸幹二さん

武内絵美さん
(テレビ朝日アナウンサー)

「キッザニア東京・甲子園・福岡」
入場券贈呈



© KCJ GROUP

事業所見学会の開始

出光創業の地 北九州・門司

「出光創業史料室見学ツアー」



2024年3月開催予定

今後開催予定

「製油所・事業所・ 歴史展示ギャラリー等見学会」



2024年度開催予定

株主様限定 社長ライブ配信の実施

株主様との対話機会の充実に向け本年初開催



2023年12月18日 (月)

午後7時～午後7時45

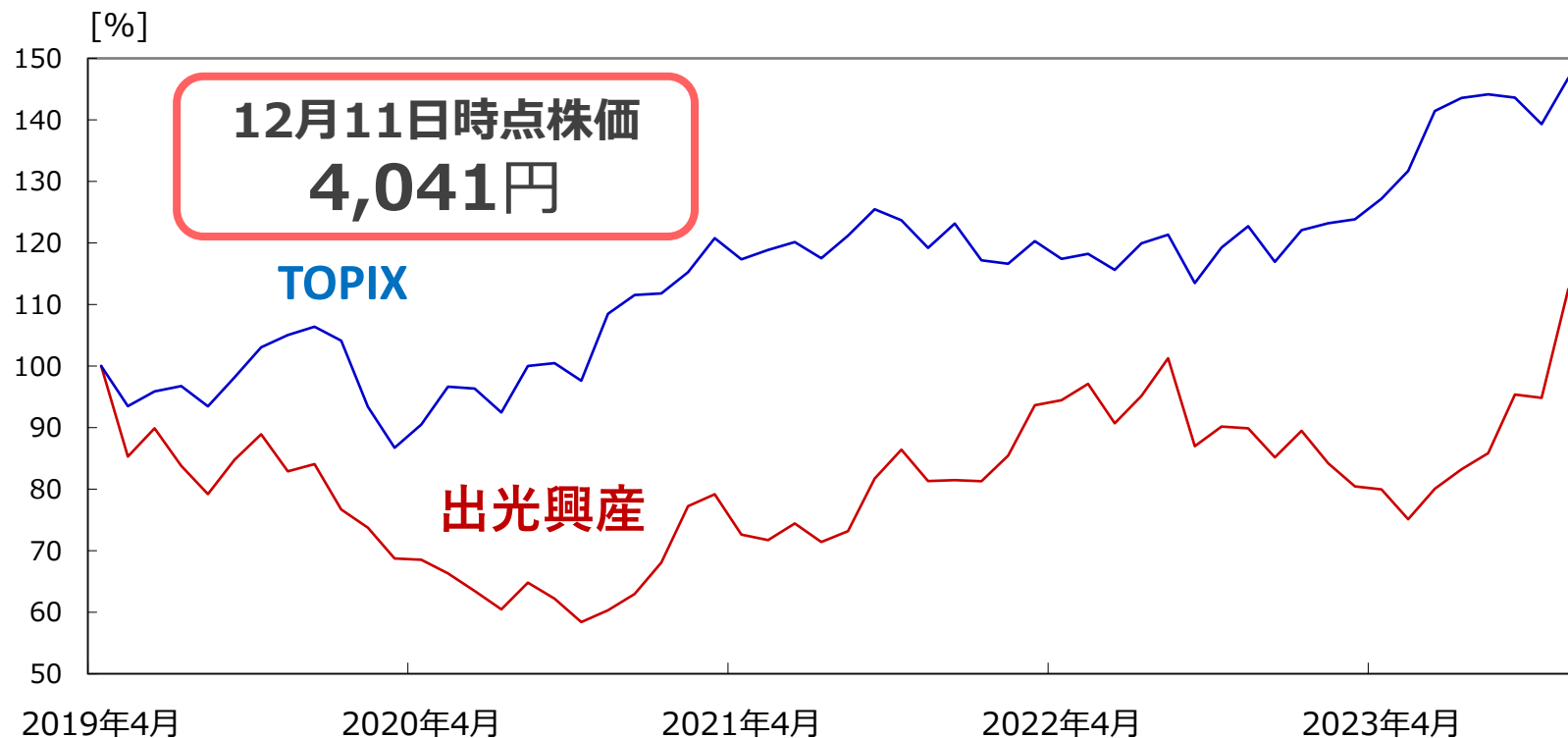
- ✓ 事前および当日質問受付を通じた
株主様と社長との対話実施
- ✓ 事業部キーパーソン出演企画にて
注目の事業戦略等を紹介
(本年はリチウム電池材料部長が出演)

出光は、「真に働く」。

「変革をカタチに」を合言葉に、
私たちは変化の兆しをとらえ、
さまざまな変革を社会へ、暮らしへ、
確かにつないでいきます。

参考資料

出光の株価推移・投資関連データ



配当利回り ※	: 3.96 %	期末配当基準日	: 3月31日
PBR ※	: 0.73倍	中間配当基準日	: 9月30日
PER(予想) ※	: 6.45倍	単元株数	: 100 株
時価総額 ※	: 1兆2,036億円	最低購入金額 ※	: 404,100円

企業価値・株式価値の向上に向けて

『25年度 ROE目標10%以上』へ上方修正
資本コスト低減と合わせて取り組み、早期にPBR1.0倍超へ

中期経営計画の取り組みを更に加速

事業戦略

- ・事業構造改革の推進
 - 既存事業の更なる収益力向上と資本効率化
 - 新規事業の拡大による事業ポートフォリオ転換とGHG削減

資本・財務戦略

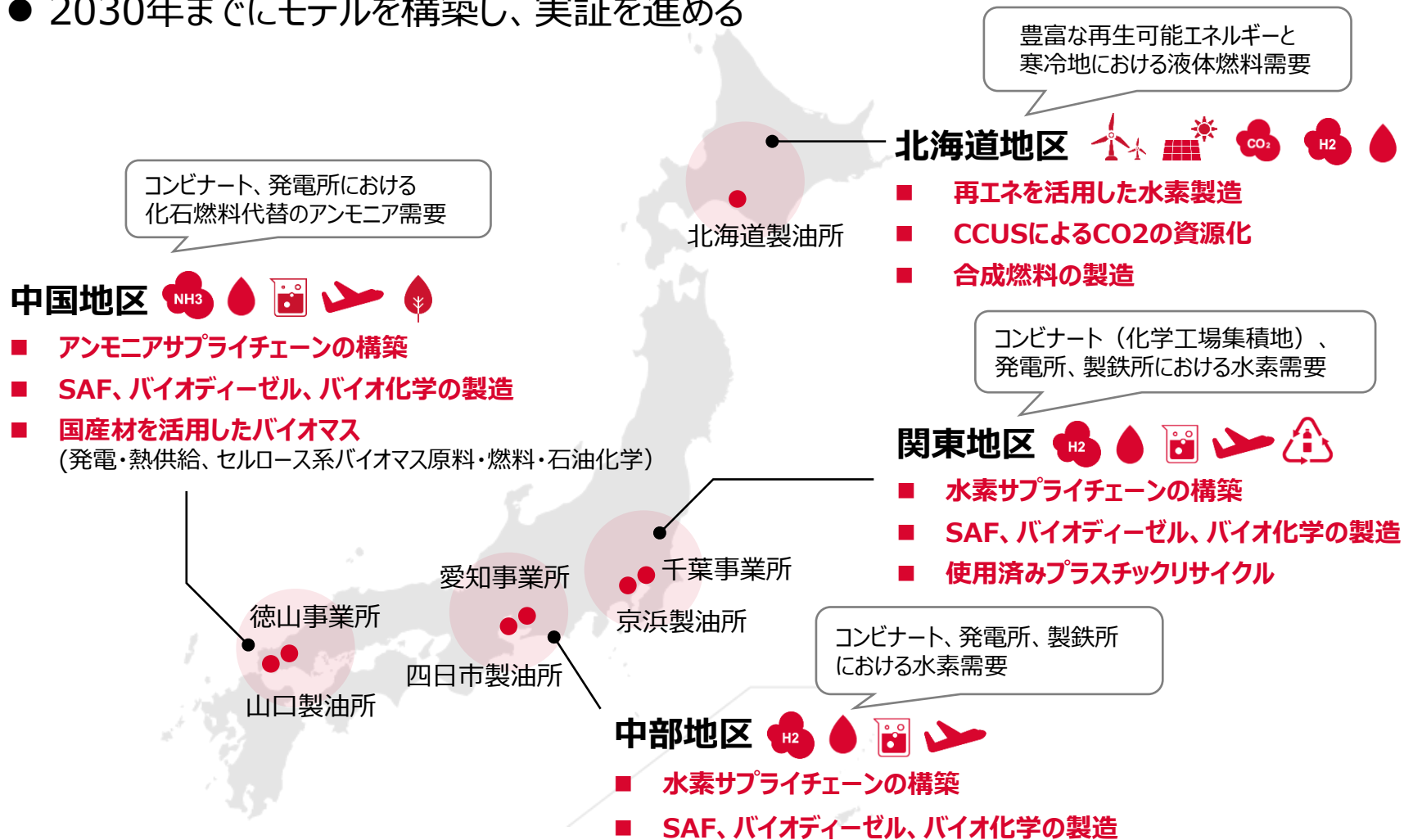
- ・資本収益性を高める資本・財務戦略の推進
- ・株主還元の充実

株主・投資家層拡大とコミュニケーション強化

CNX※センター化構想

※CNX : Carbon Neutral Transformation

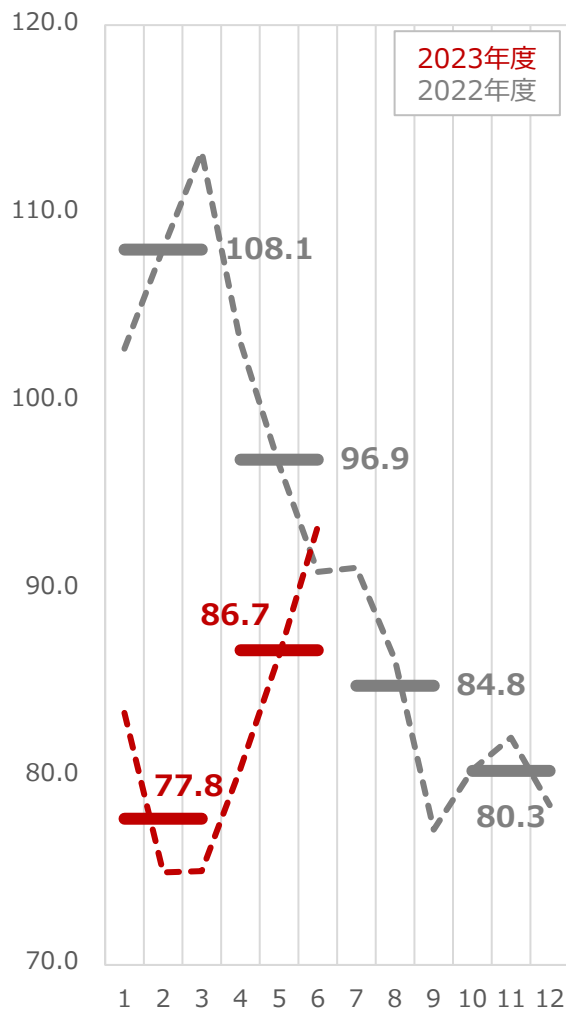
- 各地の特色と需要に応じたCNXセンター化を実現 ⇒カーボンニュートラル+地域貢献
- 2030年までにモデルを構築し、実証を進める



事業環境 (2022.1Q-2023.2Q)

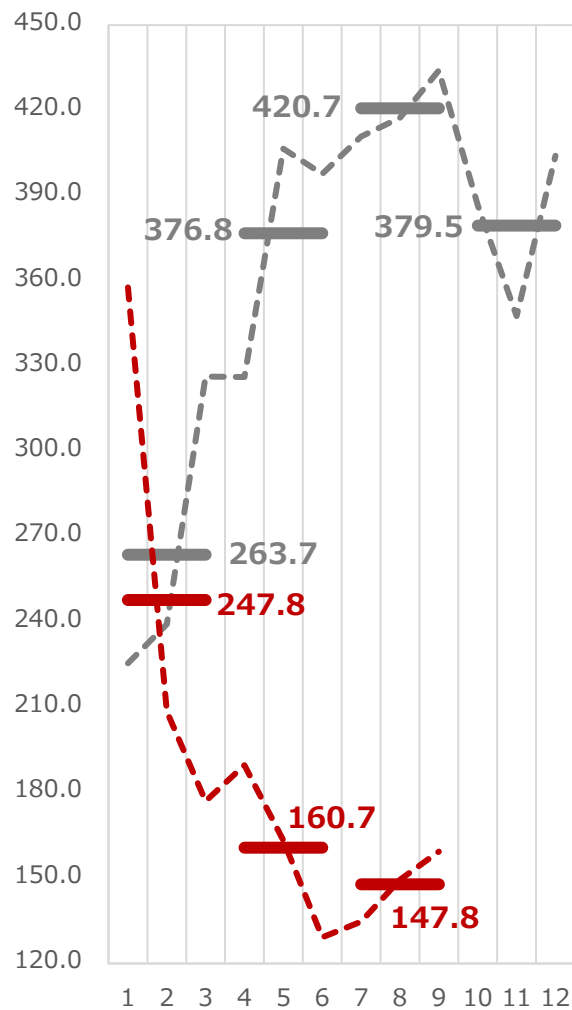
ドバイ原油価格

[USD/バレル]



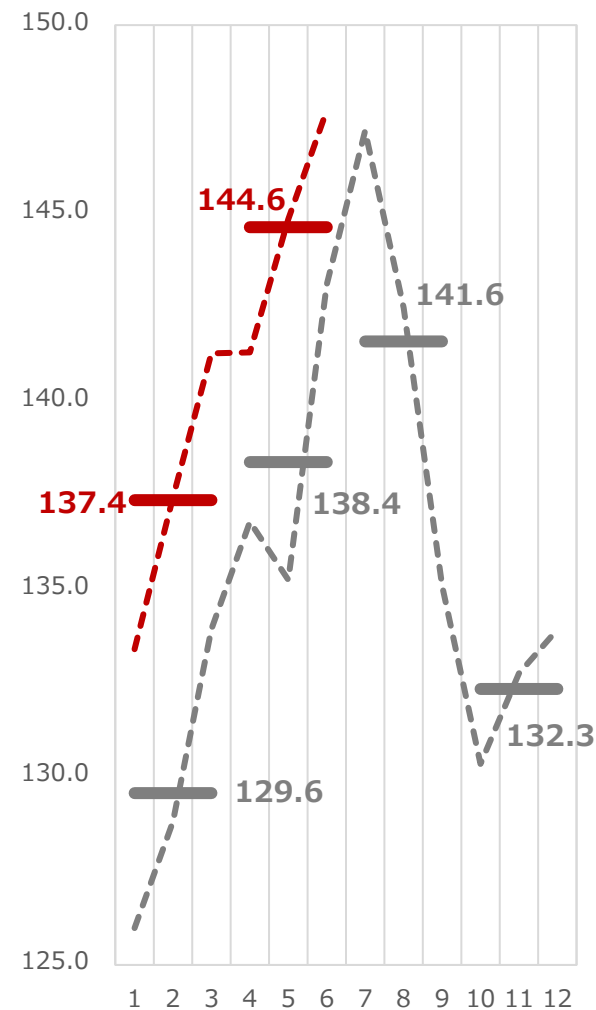
豪州一般炭スポット価格

[USD/トン]



為替レート(USD)

[円/USD]



当社IRツールご案内

最新のIR情報が知りたい

最新の業績

決算説明資料

決算短信

有価証券報告書

➤➤ [IR資料集](#)



中期経営計画を詳しく知りたい

➤➤ [中期経営計画webページ](#)



当社の中長期経営計画
・事業内容・財務・非財務情
報をまとめた冊子



当社のサステナビリティの取り組みを知りたい

➤➤ [ESGデータブック](#)



ESG – 外部評価・認定

インデックス・銘柄への採用状況

2022



Sompo Sustainability Index

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)[※]

FTSE4Good Index Series

FTSE Blossom Japan Index

FTSE Blossom Japan Sector Relative



外部表彰・認定の状況



ディスクロージャー
2023年度 優良企業



見通しに関する注意事項

本資料に記載されている当社の業績見通し、戦略、経営方針などのうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいて作成しております。

実際の業績に影響を与え得る要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向、市況、為替レートおよび金利など、潜在的风险や不確実性があるものを含んでおります。

従いまして、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。